



玉幡小学校 学校だより 第16号

チーム玉幡

令和元年11月22日(金)
学校長 丸茂和也

♪みんなの笑顔のために～廊下の掲示より～♪

学校の中には、廊下や教室等に多くの掲示があります。廊下には、季節やその時に合わせた掲示物や児童会、委員会、先生方などからみんなの笑顔のために、より良い学校生活のために、という思いを込めた掲示物が多く見られます。それは子どもたちが生活している中で毎日目にするものです。それをぜひご紹介したいと思い、主なものをまとめてみました。



1～6年生みんなの入学式



災害の時は・・・



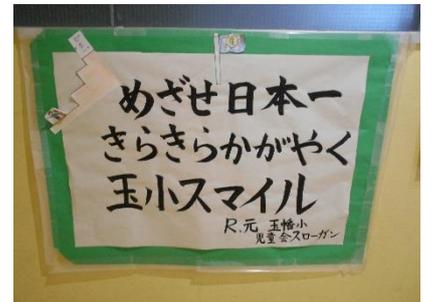
いい歯を作ろう、歯は一生使うもの！



歯を守る、歯に関することわざ・標語



あわあわ手あらいのうた



児童会スローガン、めざせ日本一



日本一の廊下、美しい！！



食べ物、たくさんかもう！



あたらしいほん、たくさん読もう



誕生月の花

4月サクラ、5月すずらん、6月バラ、7月ゆり、8月ひまわり、
9月ダリア、10月ガーベラ、11月シクラメン、
12月ポインセチア、1月シンピジウム、2月フリージア、
3月チューリップ、花言葉もあります。



立候補者のみなさん、応援するみなさん、 思い切り！	山梨の史跡・名所、 いいね、ふるさと山梨！	この3つの絵は、ある歌を 表しています。何だと思いませんか？
------------------------------	--------------------------	-----------------------------------

♪ 使えば使うほどふえていくもの ♪

私たちの身の回りには、いろいろなものがあります。例えば、お金は使えば減ってしまいます。またどんな立派な物でも使えば古くなり汚れたり、傷んだりしてきます。これは物にとっては当たり前のことです。私たちの目に見える物、手にとって使うことができる物は、そういうものです。

ところが、私たちの生活の中では、使えば減ってしまう「物」とはちがうものがあります。それは目に見えない、自分の心で感じる「もの」のことで。

たとえば「やさしい心」や「親切」というものは目に見えますか？「やさしい心」や「親切」を出せ！と言われて「はい！これがそうだよ！」とポケットから出すことができますか？それはできないのが当たり前です。「やさしい心」や「親切」というものは、人の言葉や行動から感じることはできますが、目に見える形はありません。

やさしさも明るさも、温かさもすべてこういう目に見えない世界にあるものです。

人がやる学習や努力して付けた力などは、「はい！これが私の頭に入ったこと！」と見せることができるものではなく、やさしさや親切と同じで、目に見えないものです。そしてこの心を感じるだけの目に見えないものは、必ず「使えば増える」「使えばますます磨かれて輝いていく」のです。

もし、自分の知っていることを人に教えてあげれば、その知っていることは、自分からなくなってしまいますか？？そうではありません。人に勉強や知っていることを教えれば自分の自信のないところがはっきりしてきたり、自分の頭の中がきちんと整理されたりするから、その勉強や知っていることは、自分にとって前よりも、もっと強くしっかりしたものになります。また他の人にやさしくすれば、その心はますます磨きがかかり、もっともっとやさしくなって、自分の心が温かく大きくなっていくのです。それは「心で感じるだけの、目に見えないもの」の、一番大きな特徴なのです。

そして気をつけなければならないのは、人を悪く言ったり、いじわるなどをしたりすれば、自分の中に、そういう心が増えて、自分の心が、悲しく残念な心になってしまうのです。人に勉強などを教えるのに、いいかげんに教えてしまえば、そのいいかげんさが自分の心にしみついて、そんな自分であることが当たり前になってしまっ、心のさみしい人になってしまうでしょう。

これからも、みんなが「やさしさの心」をもって話したり、遊んだり、学習や運動などをしたりしていける、みんなみんな笑顔で楽しく生きていける。そんな学級、学年そして学校であってほしい、と感じています。

いつも学校の教育活動に、温かいご理解ご支援をたくさんいただき、改めまして心より御礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援ご協力をいただければ有難く存じます。何とぞよろしく願いいたします。

